

# 中小企業連携促進基礎調査

## ベトナム国籾殻ボードの普及による籾殻再利用促進に向けた事業可能性調査

### 企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社能代資源、株式会社大和総研
- 代表企業所在地：秋田県能代市
- サイト：ベトナム国ホーチミン市及びロンアン省



### ベトナム国の開発課題

- ベトナム国内の米の精米過程で発生する籾殻は年間400万tで、うちロンアン省では40万tと推定されている。過去においては、精米過程で大量に発生する籾殻が5割程度しか有効利用されず、残分においては不適切に河川等に投棄されるなど、環境汚染が課題とされていた。

### 中小企業の技術・製品

- 精米時に発生する籾殻と安価な接着剤を使用し、平易な作業（熱圧縮成型）にて、調湿、防音、難燃に優れた穀物ボードの生産が可能（建築資材や内装材等に使用が可能）。

### 日本の中小企業の事業戦略

- 現地パートナー企業へ出資し、籾殻ボード製造の技術移転を実施。
- 2014年9月より装飾用壁材、天井材として60cm角籾殻ボードの製造販売開始。
- 原料となる籾殻や接着材等は現地調達し、また、籾殻ボードのエコ製品認定、性能標記ラベル取得を予定。
- 短期的にはホーチミン周辺への販売を想定しているが、今後、ハノイ、アジアへ向け販売エリアの拡大を検討。

### 中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

- 2007年頃より籾殻を圧縮して生成されたブリケット燃料棒としての利用が増加し、有効利用率が向上したことにより、籾殻の河川への不法投棄の問題は急速に解消されたことが本調査により判明した。籾殻ボードの普及により、籾殻の新たな有効活用法を紹介すると共に、農家から籾殻原料を買取ることによる所得の向上を図る。